

002

こども園における地域を巻き込んだ
継続的な防災教育の実施

取組主体

社会福祉法人王慈福社会琴浦中認定こども園

従業員数

27 人

想定災害

高潮

実施地域

岡山県

子どもたちの防災意識を育む教育を核として、地域を巻き込んだ包括的な防災教育を展開している。

1 取組の概要

- ・海に近い地域で子育て支援活動を行う社会福祉法人王慈福社会琴浦中認定こども園では、「クリスマス防災」の行事やリズム体操など子どもが楽しみながら学べる防災教育や、着衣水泳の体験、定期的な避難訓練などの実施を通じて、「自分の命は自分で守る」「わがこと意識」といった、子どもたちの防災意識を育んでいる。また、子どもへの防災教育プログラムに加え、保護者や地域関係者も参加ができる、地域に開かれた防災研修を定期的に開催している。このようなソフト面の対策だけではなく、ハード面においても施設に十分な避難スペースを確保している同園は、子どもの安全確保と地域防災の拠点という2つの役割を担っている。



避難訓練の様子



「クリスマス防災」での
ペットボトルランタンづくり



地域との合同避難訓練

2 取組のきっかけと想い

- ・2004年に発生した台風16号による水害被害を契機として、海に近い立地特性を踏まえた防災教育の必要性を認識し、2017年頃から防災の専門家の協力を仰ぎ、その指導のもと、防災への取組を実施している。

3 取組の特徴（差別化した点、地域特性などで工夫した点等）

子どもが楽しく学べる防災教育の工夫

- ・子どもの防災意識向上のため、まずは楽しみながら学べる防災教育から着手した。具体的には、防災カードを使った遊びやクイズ、命を守るポーズ（ダンゴムシ・あらいぐま・さる）や避難時の合い言葉（お・は・し・も・ち）を遊び感覚で習得できる企画を実施している。
- ・自分の命について意識することで、防災意識を高め、防災活動に真剣に取り組んでもらえるように、命はとても大切なものだということを繰り返し子どもたちに伝えている。命を守るために、災害時にはすぐそばにいる大人を頼り、一緒に逃げるべきだということも伝えるようにしている。また、災害に関するニュース情報を一緒に見て、恐怖心を持たせないよう配慮しながらも、このような事態になったらどのように行動すべきか考える機会を設けることで、子どもたちが災害時でも自然に適切な避難行動を取れるよう指導している。
- ・「クリスマス防災」という行事では、実際の避難時においても子どもたちの不安を和らげ、遊び道具としても使えるペットボトルランタンなどの防災に役立つグッズづくりを行い、実践的な防災教育を行っている。
- ・同園は、海に近く、高潮などの災害リスクもあることから、水位が上昇することを想定して、外階段や内階段を上る練習や、着衣水泳を子どもに体験させ習得させている。
- ・子どもたちが避難時に少しでも楽しく過ごせるよう、ストレス軽減を目的としたリズム体操を日頃から実施し、災害時にできるように体得させている。リズム体操は、月ごとに体操を変え、毎日みんなでリズム体操を楽しんでいる。

地域に開かれた防災研修の実施

- ・子どもへの防災教育プログラムに加え、地域に開かれた防災研修を定期的で開催している。この研修には地域の関係者や保護者などが参加し、防災に関する知識を学ぶ機会を提供している。また、参加者間での活発な意見交換を通じて、地域における防災の課題や解決策について情報共有を行い、災害時における共助の必要性に関する共通認識の醸成を図っている。

地域の防災拠点としても活用できる施設整備

- ・同園では、高潮発生を想定した施設の防災機能強化を目的として、岡山県倉敷市の協力のもと、平屋建てから2階建てへと、園舎の建替えを実施した。2階部分には十分な避難スペースを確保するとともに、外階段を設置することで、地域住民の緊急避難場所としての機能も兼ね備えている。これにより、子どもの安全確保と地域防災の拠点という2つの役割を果たす施設となった。

4 取組の効果

子どもたちの防災意識の向上

- ・子どもたちが避難時の適切な行動や防災に関する基礎知識を身に付けていることに対して、保護者からは「子どもがいろいろなことを教えてもらっている」「ぜひこの取組は続けてほしい」という評価を得ている。子どもたちはニュースで流れる災害にも関心を示しているとのことである。

保護者の防災意識の向上

- ・子どもたちの防災意識が高まることで、保護者たちも防災に対して意識するようになり、防災グッズに関心を示したり、防災研修に参加したりするようになった。

周囲の声

- ・「子どもたちの防災意識の高さに驚いている」（保護者）
- ・「子どもの防災意識の高まりから、私も防災グッズについてもっと知りたいと思っている」（保護者）
- ・「みんなで楽しみながら防災に取り組めており、楽しいからこそ続けやすい」（保護者）
- ・「いざというときに一度でも経験していることがあるとストレスの感じ方が違う」（地域住民）

担当者の声

- ・お預かりしている子どもたちの命を守り、保護者の方に引渡しができることを重視して、本取組を進めています。防災教育や訓練を通して、様々な災害の状況に対し、子どもたちがパニックにならず、一つしかない命の大切さに気付き、自分の命は自分で守る、という意識を高めてくれたらと思います。また、子どもたちの防災意識の向上を通じて、保護者などの大人の意識も高め、地域全体の防災意識も高めていきたいと思っています。

問合せ先	動画	サイト URL
社会福祉法人王慈福祉会琴浦中認定こども園 法人番号：6260005003553 電話番号：086-472-5705 FAX：086-474-4972 E-Mail：hoiku@ohji.ne.jp URL：https://www.ohji.ne.jp/	—	